



第4章

地域づくりの方針（地域別構想）

1. 地域区分の設定について
2. 岩国地域
3. 由宇地域
4. 玖珂・周東地域

第4章

地域づくりの方針（地域別構想）

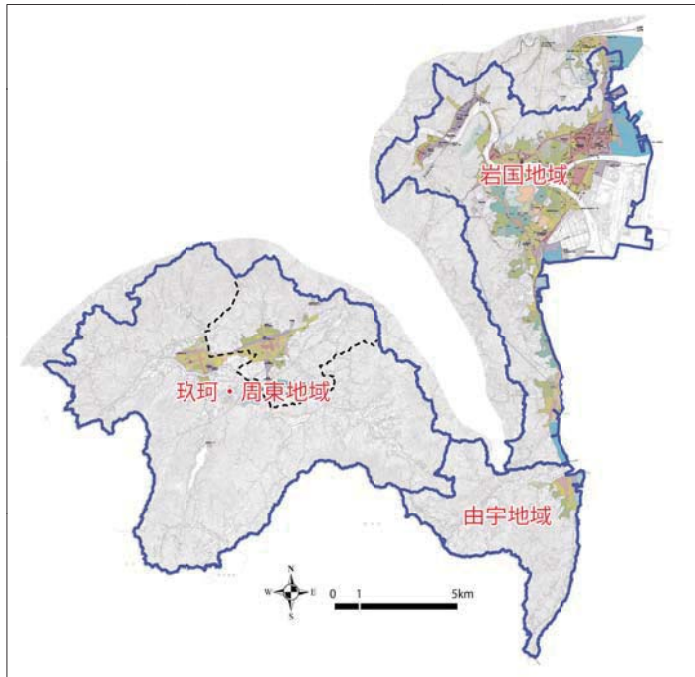
本章では、「都市づくりの方針(全体構想)」を受けて、住民の生活圏に近い地域単位ごとに、より詳細でかつ地域の特色を活かした地域づくりの方針(地域別構想)を定めます。

1 地域区分の設定について

地域区分の設定にあたっては、地形等の自然的条件、土地利用の状況、日常生活の交流範囲等を考慮し、各地域の将来像を描き施策を位置付ける上で、適切なまとまりのある空間の範囲とする必要があります。

岩国市都市計画マスタープランでは、本市の中心市街地を含み、にぎわいや観光・交流の中核を担う『岩国地域』、瀬戸内海沿岸部の集落地や、海を活かした交流・レクリエーションエリアを有する『由宇地域』、内陸部のゆとりある田園居住環境と、交通利便性を活かした内陸型産業の要である『玖珂・周東地域』の3つの地域に区分します。

■ 地域区分



■ 地域別構想の対象範囲

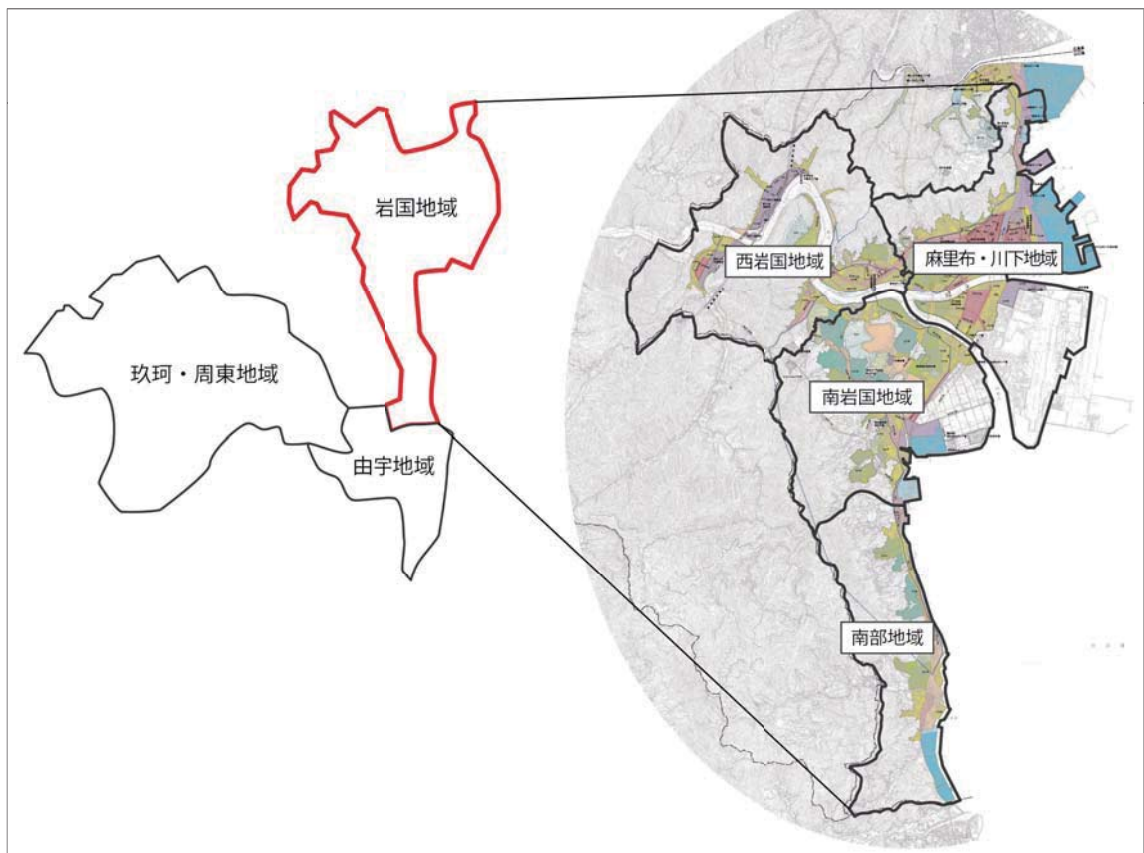


2 岩国地域

岩国地域には、多様な特性をもつ市街地が各地域に形成されています。

そこで、地形的な特徴や地域特性及び日常生活圏等を考慮し、本地域をさらに、岩国駅を中心とした中心市街地を有する『麻里布・川下地域』、錦帯橋周辺等の歴史的なまちなみを有する『西岩国地域』、南岩国駅を中心に良好な住宅地が広がる『南岩国地域』、瀬戸内海に面する自然豊かな『南部地域』の4つの地域に区分し、より市民にわかりやすい地域づくりの方針を示します。

■ 岩国地域・地域区分



(1) 麻里布・川下地域

■ 麻里布・川下地域の将来像

多くの人が集まり楽しく暮らせる 発展とにぎわいのあるまち



麻里布・川下地域の地域づくりの目標

● 活力ある岩国都市拠点の形成

岩国駅を中心に交通結節機能を強化し、多くの人が集まるにぎわいと活力ある魅力的な中心市街地の形成を図ります。また、多様な都市機能が集積する利便性の高さを活かし、中高層住宅等による都心居住の促進を図ります。

● 快適な街なか居住と産業活動を促進する基盤施設の整備

中心市街地の回遊や周辺地域からのアクセス向上、臨海部を中心とした産業活動の円滑化に向けた道路・交通環境の整備・改善を図るとともに、身近な公園や下水道等の基盤施設の整備・改善を進め、街なかに多くの人々が快適に暮らし続けられる住環境の形成を図ります。

● 身近な水と緑からなる自然環境の保全・活用

市街地内を流れる錦川は、市街地に潤いをもたらす水と緑からなる貴重な自然環境です。河川環境の保全を図るとともに、河川敷等の桜並木や楠等の緑を活かし、快適で魅力ある河川空間の形成を図ります。

■ 地域づくりの方針

① 土地利用・市街地整備

- ◆ 岩国駅を中心とする市街地では、多様な都市機能の集積を図るとともに、利便性の高さを活かした都心居住を促進し、多くの人でにぎわう魅力ある中心市街地の形成による岩国市の中心にふさわしい都市拠点の形成を図ります。
- ◆ 今津地区や川下地区では、幹線道路沿い等を中心に日常生活を支える身近な商業・業務地の形成を図りつつ、周辺の住宅地と調和した良好な市街地環境の形成を図ります。
- ◆ 国道2号等の主要な幹線道路沿いでは、周辺地域の生活利便を支える沿道サービス機能を適正に配置・誘導するとともに、背後の住宅地と調和した秩序ある沿道景観の形成を図ります。
- ◆ 瀬戸内海沿いに広がる臨海部の工業地域では、多様な企業活動を支える環境の維持・増進を図り、本市の産業を支える工業拠点の形成を図ります。
- ◆ 岩国港周辺では、隣接する工業地域と連携した流通業務機能の強化を図るため、港湾施設の整備を促進します。

- ◆ 川下地区では、『川下地区まちづくり整備計画』に基づき、幹線道路や生活道路、公園、公共下水道等の都市基盤施設の整備を促進することにより、落ち着いた暮らしやすい市街地環境の形成を図ります。
- ◆ 岩国駅東・川下地区等の工場と住宅が混在する地区では、地域と協働しながら、共生できる市街地環境の改善に努めます。
- ◆ 中低層住宅や店舗等からなる一般住宅地では、生活道路や公園等の日常的な生活基盤施設の整備・改善を進めるとともに、安心して快適に暮らし続けることのできる住環境の保全・形成を図ります。

②道路・交通環境

- ◆ 国道2号、国道188号、岩国大竹道路、岩国南バイパス等は、麻里布・川下地域と周辺地域を結ぶ幹線道路として整備等を図り、円滑な交通環境の形成を目指します。また、新港・装束周辺では、慢性的な渋滞の解消に向け、道路の改良・整備を進めます。
- ◆ 南岩国地域とのアクセス向上に向け、(都市計画道路。以下(都)と表記)昭和町藤生線の整備を促進するとともに、川下地区においては、地区の東西を繋ぐ幹線道路である(都)楠中津線の整備を促進します。
- ◆ 生活利便性を向上させるため、地域幹線道路*や地区幹線道路*の整備を推進します。
- ◆ 生活道路のバリアフリー化等を進め、歩行者や自転車が安心して通行できる道路環境の改善を図ります。
- ◆ 岩国駅及び駅周辺では、岩国駅のバリアフリー化や東西自由通路、駅前広場等の整備により、鉄道やバス等の公共交通機関の利便性向上及び交通結節機能の強化を図るとともに、東西市街地の一体化を促進します。また、駐車場・駐輪場等の適切な配置、整備を進め、利便性の向上を図ります。
- ◆ 岩国錦帯橋空港の利便性向上に向け、主要な幹線道路から空港ターミナルへのアクセス道路の整備を促進するとともに、岩国駅や錦帯橋バスセンターとのバスアクセスの充実を図ります。
- ◆ 岩国港では、ターミナル機能の強化を図るとともに、臨海部のスムーズな物流輸送等を推進するための岩国港臨港道路等の整備や、大型船の寄港誘致に資する取り組みを促進します。
- ◆ 岩国港から黒島・端島・柱島間を結ぶ離島航路は、島民の日常生活に欠くことのできない交通手段であることから、観光資源の活用等による交流人口の増加を図り、今後も維持していきます。

③自然環境・都市環境

- ◆ 岩国駅を中心とする市街地においては、重点的な緑化に取り組み、本市の玄関口にふさわしい緑豊かな潤いある景観の形成を図ります。
- ◆ 中央公園では、錦川の水辺と楠巨樹群を活かした親水性の高い空間を整備し、市民の憩いと癒しの場となる公園づくりを目指します。
- ◆ 長山公園では、水と緑の潤い豊かな地域に親しまれる公園としての活用を図ります。
- ◆ 街区公園等の地域に身近な公園や緑地では、住民のニーズを踏まえながら再編・再生、適切な維持管理、活用方策について検討し、地域と協働した取り組みを進めます。
- ◆ 港湾緑地は、多くの市民に利用される公園・緑地として整備、有効活用を図ります。
- ◆ 錦川の自然環境の保全を図るとともに、河川敷等では、防災面に配慮しながら散策路等の親水空間を確保し、川の自然と調和した潤いある景観形成を図ります。
- ◆ 市街地周辺の山地・丘陵地は、市街地の背景として都市の風致や潤いに資する貴重な緑であり、市民や企業等と連携しながら適切に保全を図るとともに、豊かな樹林地の活用を図ります。
- ◆ 河川等の自然環境への負荷を軽減させるとともに、衛生的で快適な生活環境を整えるため、公共下水道等の整備を推進します。



長山公園

④その他

- ◆ 基地のある街として、これまでも取り組まれている各種イベントや文化・スポーツを通じた国際交流等、地域の活性化に寄与する取り組みを進めます。
- ◆ 川下地区や今津地区等の河川沿いに広がる市街地や過去に災害が発生した地区等では、ハザードマップ等の防災情報の整備と周知を図るとともに、洪水被害や浸水被害を抑止・軽減するため、護岸整備や河川の浚渫^{しゅんせつ}、ポンプ場の整備等による自然災害対策の強化に努めます。
- ◆ 土砂崩壊や土砂流出等のおそれがある地区や過去に災害が発生した地区等では、ハザードマップ等の防災情報の整備と周知を図るとともに、被害防止のための対策の推進、開発の抑制等による自然災害対策の強化に努めます。
- ◆ 日の出地区では、優れた環境保全性能を有し、高い機能性と経済性を両立した新たなごみ焼却施設の整備を推進します。

■麻里布・川下地域の方針図

